新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成十一年の新春にあたり、皆様のご健勝をお喜び申し上げます。

顧みますと昨年は、感動のドラマ・長野オリンピックで幕を開けましたが、長引く景気の低迷など、総じて息苦しい一年であったように思われます。そうしたなか新津市におきましては、一大イベント「全国都市緑化にいがたフェア」を元気いっぱいに開催することができました。陰に陽にご支援くださいました皆様に、厚くお礼申し上げる次第です。

おかげさまで新津会場には、ざっと三十万人のお客様をお迎えしました。きっと、花や緑が発するメッセージは、訪れた方々の心を和ませてくれたものと思っております。そしてこれを契機に、さらに花、緑があふれるまちづくりを進めていきたいと考えています。

こうした明るい出来事があった一方で、三度にわたる集中豪雨は市民生活に大きな被害を与えました。とりわけ八月四日未明から降り出した雨は、昭和五十三年の「六・二六水害」以来の記録的な豪雨となり、市内各所に住宅浸水、道路冠水、土砂崩れなどをもたらしました。改めて被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

自治が拓く新時代

このたびの一連の水害の特徴は、これまでの河川の溢水による「外水型」ではなく、市街地における排水能力を超える異常な降雨が要因の「内水型」であったことです。市としましては、今回の降雨、被害状況をきめ細かに調査・分析し、今後の排水計画を検討してまいりますが、まず床上浸水をなくすこと、このことを目標に精力的に取り組みを進めていきたいと考えています。

さて迎えた平成十一年ですが、時代潮流を的確に見極めながら重点課題を整理し、新しい時代を切り拓く年にしたいと決意を新たにしています。

折しも本年は、平成七年にスタートした第三次総合開発計画前期五か年の最終年度にあたります。そこで、二十一世紀へと向かう軌道を確かなものとするため、前期計画の検証、評価を基に後期五か年計画を繰り上げたいと考えています。また、待望久しい新津駅東西歩行者道をはじめ、二か所目となる特別養護老人ホーム、文化会館の建設などにつきましても全力を傾けてまいりますほか、行政改革も待ったなしの課題ですので、きちんとした道筋を市民の皆様にお示ししていく所存です。

本年も厳しい船出となりましたが、市民の皆様からは今後ともいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭のごあいさつとします。

新津市長　小林一三

平成11年　元旦　新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。年頭にあたり、市民の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

昨年は不況の中、世相は暗い話題に終始しましたが、当市においては、全国都市緑化フェアが開催され、市民の強力なご支援と当局のご努力のおかげで、目標入場者数を達成し、明るい話題を提供してくれました。

私もフェア会場に何度となく足を運びましたが、多くのボランティアの奮闘ぶりに、市民の参加によせるエネルギー、まちづくりの主体としての情熱に圧倒される思いでした。

今年は、第一小学校に保存されていたC57―180号が市民の期待と夢を乗せ、磐越西線にその懐かしい姿をあらわします。これも復元に向けご努力された多くの市民の熱意の賜物であり、明るい話題をふりまいてくれるものと期待しております。

市民の皆様と共に夢あふれるまちづくりを

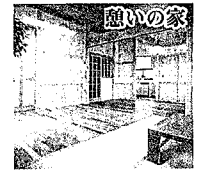
市議会といたしましては、市民と共に手をたずさえ、市当局とも協力し、夢あふれるまちづくりに全力をあげて努力いたします。

どうか本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新津市議会議長　奥村隆男

お買物、ご用命は市内で

ホーミー新津教室
わずか3時間で一生の得
無料 住まいの勉強会（予約制）
有限会社 清新ハウス
一級建築士事務所
〒956-0014　新潟県新津市福島167番地2　TEL0250-24-4151



幸福を生む住まい
HOMY
＜健・幸・住・宅＞を提案します
人生のシナリオは住まいでつくられる！
●住まいの良し悪しがあなたの幸・不幸を左右します
ホーミー住まいの教室に参加してみませんか
家を造ってから後悔しないために私達はユーザーの立場になって、住まいの勉強会を開催しております。

今年は卯年（うどし）

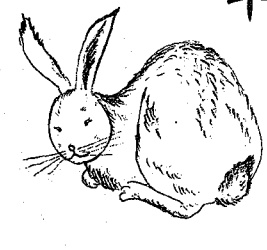
今年は卯年。十二支の四番目のうさぎ年です。卯は東の方角、また「卯の刻」といえば午前六時ごろを指します。

明治中ごろから日本でも飼育

うさぎは、ウサギ科のほ乳類です。うさぎというと耳が長く、目が赤く、毛は白、ピョンピョンと跳ねる動物を思い浮かべますが、これは私たちがよく見る日本白色種で、ほかにも多くの種類がいます。毛が白黒（または白茶）でバンダウサギとも呼ばれるダッチ、耳の下がったロップイヤー、耳の短いピーターラビットなどです。

うさぎが家畜化されたのは十二～十三世紀ごろといわれ、その後、ポルトガルの航海者が食糧の補給源として各地に広めたとされています。第一次世界大戦のころはヨーロッパ各地で食肉用、毛皮用に盛んに利用されました。日本では日清、日露戦争のころから、日本白色種が大量に飼育されるようになりました。

うさぎを数えるときに、一匹、二匹と言わずに一羽、二羽と言います。これは、昔、獣肉を食べるのを忌み嫌っていた時代に、鳥のような数え方をしてうさぎを食べていたからでしょう。うさぎは貴重なたんぱく源だったのです。



悪役や英雄さまざまな役回り

うさぎの話は、古くは「古事記」に発しています。うさぎが海の上に並んだワニザメをだまして因幡（いなば）の国に渡ろうとします。しかし、最後にワニザメの怒りを買ってしまい、皮をはぎ取られて苦しんでいるうさぎを大国主命（おおくにぬしのみこと）が救うというお話です。

誰でも知っているうさぎの話といえば、「うさぎとカメ」です。うさぎとカメが向こうの山まで、どちらが先に行けるか競争します。早いうさぎは、カメがのろいのを見て途中で油断して昼寝をしてしまいます。その間にカメがゴールするというお話で、地道に努力すれば必ず成功するという教訓です。

こうした話は、動物競争物語として各国にあります。ただ勝つ方の動物がカメではなく、ハリネズミやカニ、ヒキガエル、ナメクジだったりします。負ける方もうさぎだけではなく、ウマやキツネ、ヒョウ、ゾウなどさまざまです。

もう一つ、日本の昔話で有名なのが「カチカチ山」です。

…タヌキにおばあさんを殺されてしまい、嘆き悲しむおじいさんに同情して、うさぎがあだ討ちをします。うさぎはタヌキを薪（まき）拾いに誘い、タヌキが背負った薪にカチカチと火打ち石で火をつけてやけどをさせます。さらに、タヌキを泥船に乗せて川に沈めてしまいます。

うさぎの復讐という筋書きですが、知恵が勝利をもたらすということと、弱きを助け強きをくじく勧善懲悪の教えとされています。

うさぎは悪役だったり英雄だったり、だましたりだまされたりと、いろいろな役回りをこなしています。

歳時記　三が日

一月の一日から三日までが三が日。この期間は正月気分でのんびり過ごす方も多いことでしょう。

こうした習慣は、時代により、場所によって少しずつ違っているようですが、この三日間は、家族が晴れ着を着て集まり、おとそで新年を祝い、雑煮やおせち料理を食べるというのが一般的のようです。そして、年始のあいさつに行ったり、反対に人が来たりします。

おせち料理はごちそうであり、三が日の間、料理などをしなくて済むための保存食でもあるようです。また、三が日は、朝は毎日雑煮、昼・晩もご飯を炊かずに、おしる粉やきなこ餅（もち）などを食べることも珍しくありません。しかし、昔は餅を食べるのが楽しみでしたが、最近は正月といっても特に餅を食べることをしないで、いつもどおりのパン食という家庭も多いのではないでしょうか。

さて、今年はどんな年になるのでしょうか。いい年になるよう、三が日は心穏やかにお祈りしたいですね。

お買物、ご用命は市内で

あけまして
おめでとうございます
新年は6日(水)より
営業しております。
予約優先
田家1丁目
TEL22－1870
HAIR・SALON モリヤマ

靴の イザワ
靴なら何でも揃うイザワ
※歩く楽しさをお届けします―※
二葉商前本店☎22・0625
長崎原店☎24・5177
★駐車場あります